

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で gpjimu@asj.or.jp 宛、なお、原稿も必ず 0422-31-5487迄 Fax でお送り下さい。

## 研究会・集会案内

## 「太陽宇宙デジタルライブ」

## 京都大学花山・飛騨天文台連携同時一般公開のお知らせ

京都大学花山天文台と飛騨天文台では、来たる 11 月 18 日(土)に同時に連携して一般公開を行います。施設の公開・展示陳列と天体観望会を行い、また、ネットワークを経由して両天文台で観測された天体画像を相互にリアルタイムで上映します。花山・飛騨天文台で現在行われている最先端の天文学研究を、わかりやすく説明しますので、お気軽にお越し下さいますよう、ご案内申し上げます。

〈一般公開〉

日時：2000 年 11 月 18 日(土)14 時～20 時 30 分

場所(1)：京都市山科区北花山大峰町

京都大学大学院理学研究科附属花山天文台

(2)：岐阜県吉城郡上宝村蔵柱

京都大学大学院理学研究科附属飛騨天文台

公開施設と内容：花山・飛騨天文台の主要な観測施設、研究施設などの公開および展示陳列

天体観望会：

(1)花山天文台

・14 時～16 時

ザートリウス 18 cm 屈折望遠鏡および 70 cm シーロスタット分光望遠鏡による太陽像と分光スペクトル観望。また、ネットワークを用いて飛騨天文台で観測された太陽像をリアルタイムで上映。

・18 時～20 時 30 分

45cm 屈折望遠鏡による木星・土星観望。

(2)飛騨天文台

・14 時～16 時

ドームレス太陽望遠鏡およびフレアモニター望遠鏡による太陽像と分光スペクトル観望。花山天文台で観測された太陽像のリアルタイム上映。

・18 時～20 時 30 分

65 cm 屈折望遠鏡による惑星画像のインターネット公開。

〈交通機関〉

(1)花山天文台；地下鉄東西線蹴上駅より徒歩 30 分、または、京阪三条駅よりタクシー約 10 分（約 1300 円）

(2)飛騨天文台；公共交通機関がないので自家用車のみ（高山市から車で約 1 時間）

〈申し込み方法〉

(1)花山天文台見学は、事前申し込みは不要。

TEL: 075-581-1235

FAX: 075-593-9617

(2)飛騨天文台見学希望の方は、11 月 11 日(土)までに、往復ハガキに住所、氏名、電話連絡先、を書いて申し込む（団体の場合は代表者の住所、氏名、電話連絡先のほかに、見学者の総数と各人の氏名も洩れなく記入のこと）。先着 100 名まで。ハガキの宛先は、

〒506-1314 岐阜県吉城郡上宝村蔵柱

京大飛騨天文台

TEL: 0578-6-2311

FAX: 0578-6-2118

〈花山・飛騨天文台のホームページ〉

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>

## 「国立天文台三鷹キャンパス特別公開」のご案内

メインテーマ

「スーパーコンピュータで探る宇宙」

日時：2000 年 11 月 11 日(土) 13:00～19:00

場所：国立天文台 三鷹キャンパス内

(東京都三鷹市大沢 2-21-1)

主催：国立天文台、東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター

共催：総合研究大学院大学

後援：(財)天文学振興財団、(社)日本天文学会

●国立天文台三鷹キャンパスの常時公開(2000 年 7 月 20 日から、年末年始・特別に指定された日を除く、毎日)の開始に併せ、これまでの「一般公開」の呼称を「特別公開」と改めました。

●特別公開日の常時公開は行いません(午前中は入台できません)。

〈公開施設と内容〉

・国立天文台三鷹地区の主要観測施設、実験施設などの公開および展示陳列

・講演会 (14時～16時30分)

解析研究棟大セミナー室

「地球と月の起源～スーパーコンピュータが解き明かす誕生の秘密～」 小久保英一郎

「スーパーコンピュータで宇宙を創る」

観山正見

・天体観望会

口径50cmの社会教育用公開望遠鏡にて、昼間はバガ、夜間は月などを観望します。また、グラウンドにて望遠鏡メーカー・販売店が設置する望遠鏡や双眼鏡での観望も行います(晴天時のみ)。

〈交通〉

1. JR中央線武蔵境駅南口より、小田急バス狛江駅または狛江営業所行き(15分)
2. 京王線調布駅北口より、小田急バス武蔵境南口行きまたは京王バス武蔵小金井駅北口行き(15分)
  - 1, 2いずれも天文台前バス停下車
3. 上記の他に、JR中央線三鷹駅および武蔵小金井駅、小田急線狛江駅からも天文台前バス停留所を通るバスが出ています。

〈注意事項〉

自家用車、バイクでの来場はお断りします(構内には一般向け駐車場はありません)。

- ・お子様のご来場は、保護者の同伴をお願いします。
- ・構内には、軽飲食のための食堂があります。
- ・夜間は防寒対策をしてご来場下さい。

● 問い合わせ先:

国立天文台

TEL: 0422-34-3600(代)

● ホームページ: <http://www.nao.ac.jp/open-day/>

天文教育普及研究会

「第29回関東地区研究集会」のお知らせ

標記の研究集会を下記の通り開催いたします。会員・非会員を問わず天文教育・普及に関心をお持ちの方であれば、どなたでも参加できます。

多数の方のご参加をお待ちしております。

テーマ: 天文社会に明るい未来はあるのか?

— 21世紀の天文普及を考える —

日時: 2000年11月25日(土)14:00～17:00

会場: 国立天文台三鷹解析研究棟大セミナー室

東京都三鷹市大沢 2-21-1

(当日の会場の連絡先は、0422-34-3503)

内容: 基調講演および討論・上記テーマで行います。研究発表・テーマに関連したものをお願いします。発表希望者は、世話人にお申し込み下さい。

その他: 茶菓子代500円をいただきます。

自家用車での来台はご遠慮下さい。当日は、閉庁日につき研究棟が施錠されています。会場については13時～16時のあいだ開錠しますので、この時間内にお越し下さい。集会の前に天文台の見学コースの散策、終了後に観望会に参加できます。

問い合わせ先: 高塚 敦 (千葉県立松戸国際高校)

〒270-2218 千葉県松戸市五香西 5-6-1

TEL: 047-386-0563

FAX: 047-386-8518

E-mail: [HDA02034@nifty.ne.jp](mailto:HDA02034@nifty.ne.jp)

国立天文台・岡山天体物理観測所 特別公開のご案内

日時: 2000年11月3日(金) 午前10時から午後4時

開催場所: 〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町本庄

内容: 国立天文台・岡山天体物理観測所の施設を一般の皆様へ公開いたします。普段見ることの出来ない望遠鏡の動きや、観測装置を見学できるほか、観測所の最新の研究成果が見られます。

- 1) 観測所の施設公開
- 2) 望遠鏡を利用した観測のデモンストレーション
- 3) 分光器による青空のスペクトル観察
- 4) 特別展示「観測所ってなにしよるん?」
- 5) 研究活動の紹介
- 6) 天体写真の展示および販売

備考: 当施設はJR山陽線鴨方駅から車で20分、山陽自動車道・鴨方インターから車で15分の位置にあります。鴨方駅からは、バスの便があります(1日4本)。観測所近辺に食堂・売店はありませんのでご注意ください。

問い合わせ先:

〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄

TEL: 08654-4-2155 [代表]

FAX: 08654-4-2360

<http://www.oao.nao.ac.jp/>

## その他

### IAU 新会員 37 名の登録を承認

IAU の国内委員会である日本学術会議天文学研究連絡委員会では、皆様方のご推挙により IAU 新会員として 37 名の方について今年 3 月に IAU 本部に対し提案いたしました。この提案に関しまして、8 月 8 日および 15 日の IAU Nominating Committee で検討・了承され、8 月 16 日の IAU 総会において正式に承認されましたのでご報告します。

以下に IAU 新会員となられた方々のお名前を列記します。

岩室史秀, 大西利和, 加藤太一, 金田英宏, 河村晶子, 河野孝太郎, 越石英樹, 児玉忠恭, 小林史歩, 坂本 和, 佐藤 勲, 鈴木知治, 高田唯史, 高田将郎, 高橋順子, 田越秀行, 樽家篤史, 戸谷友則, 土橋一仁, 富田晃彦, 中島潤一, 中村卓司, 中村文隆 (新潟大), 原 弘久, 福重俊幸, 藤田 裕, 船渡陽子, 細川瑞彦, 松浦周二, 松本倫明, 宮脇亮介, 森 正夫, 山崎達哉, 山村一誠, 油井 (山下) 由香利, 吉田慎一郎, 米倉覚則 (以上 37 名, 50 音順)

これにより、日本の IAU 会員は総数 482 名となりました。

福島登志夫 (天文研連幹事)

## 会務案内

### 日本天文学会早川幸男基金受給者募集要項

日本天文学会 早川幸男基金 (若手海外学術研究援助基金) 内規\*に基づき、海外学術研究に対して援助を希望する者を募集 (2001 年度第 1 期) 致します。

1. 援助金総額 年間 200 万円 (2000 年度)
2. 援助件数 年間 10 数件程度
3. 募集対象期間 2001 年 1 月 1 日～3 月 31 日の間に日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わず、すでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。
4. 応募必要書類 (少なくともコピーの分は A 4 紙に統一すること)
  - 原本 1 部, コピー 5 部。
  - 書類 (特にコピーの分) に不備があると審査段階で不利益を被る恐れがありますのでご注意下さい。
- (1) 応募用カバーシート (第 93 巻 4 号 237 頁の応募用紙を A 4 に拡大コピーして使用する)。なお、渡航目的と応募者の研究内容との関連は詳しく書くこと。渡航費見積金額は航空運賃を記入して下さい (保険料, 出入国税等は含めない)。
- (2) 論文リストを含む研究業績
- (3) 観測については、観測割当通知および観測提案の写しか、それに準ずるもの
- (4) 国際共同研究については、渡航先の招聘状および研究計画の概要
- (5) 研究集会参加については、当該研究会開催の主旨を説明する資料, プログラム, および応募者の寄与 (口頭発表等) を証明するもの
- (6) 大学院生の場合, 研究指導者の意見書
- (7) 航空運賃の見積書, 渡航後の場合は領収書のコピーも添付する。
- (8) 関連研究論文の写し (一編)

5. 応募締切: 2000 年 12 月 11 日必着

6. 決定時期: 2000 年 12 月下旬

7. 応募書類送付先:

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内 日本天文学会 早川基金募集係

\* 早川基金内規 (社団法人日本天文学会定款参照) による援助対象資格は「日本天文学会会員で、原則として 35 歳以下の天文学研究者であって、この基金以外の海外渡航費 (滞在費を除く) の援助を受けない者。」です。

© 2001 年はこの後、3 月 10 日締め切りで 2001 年

4月～6月出発分の募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備をしてください。

◎ 援助者には、1,200字以内の帰国報告書と写真があれば提出をお願いします。これは天文月報に掲載します。

## 日本天文学会評議員会 議事録

日 時：2000年7月15日(土)

11時00分～16時00分

場 所：国立天文台 講義室

出席者：石黒，木下，小杉，佐藤(勝)，佐藤(修)，高津，谷口，中村，長谷川，渡部，井上，上野，岡村，奥田，加藤，須藤，福島，吉田 以上18名

欠席者：家，池内，野本，林，松田，海部，小平，小山，鈴木，高原，福江，観山 以上12名

有効委任状提出者：家，海部，鈴木，高原，福江 以上5名

他に理事会から尾崎理事長，大石理事，立松理事，有本理事，山岡理事，中井研究奨励賞選考委員会委員長，原事務長，東条次期事務長が出席

議事に先立ち，議長に奥田治之氏を，署名人に石黒正人氏，佐藤修二氏を選出した。

### 議事の経過及び結果

1. 「天文研究者の別姓使用のお願い」を，関連研究機関など約23機関に送付したことが大石庶務理事より報告された。岡村評議員より，追加送付は可能かとの質問があり，追加送付は必要に応じて行なうことが確認された。
2. 前回(2000年4月4日)の評議員会議事録が報告され，承認された。
3. 1999年度研究奨励賞受賞候補者の推薦理由を中井委員長が報告した。質疑応答の後，賛否を問い，満場一致で委員会推薦の通り高橋順子氏に1999年度研究奨励賞を授与することを決定した。しかしながら，推薦理由書について修正要求があったため，中井委員長に修正をお願いし，奥田議長が最終的にチェックすることとした。これに関連して，受賞対象者は天文学会会員以外でもよいのではないかとの意見が福島評議員から出され，意見交換を行なった。
4. 2001年度天文学会事業計画案を大石庶務理事が説明した。後援事業の記述について小修正を行なうこと以外は原

案通り承認された。

5. 2001年度収支予算案について立松会計理事が説明した。また，繰越収支差額の定義を，「前年度決算が確定した時点での次年度繰越金」から「前々年度決算での次期繰越金」に変更したことも説明された。収支予算案は原案通り承認された。これに関連して会費未納者が会員全体の1/3もあることが報告され，学会としてこの状況を早急に解決すべく，自動引き落としキャンペーンをするなど様々な努力をするよう理事会に要請することとなった。
6. 2001-2002年度の理事・監事候補，選挙管理委員会委員候補，林忠四郎賞選考委員会委員候補の説明を大石庶務理事が行い，意見交換の後，原案通り承認された。
7. PASJの製作委託先，販売委託先を，2001年度よりそれぞれPLAIN，丸善に変更することについて有本理事が説明した。また電子版のサーバーは理研から学会事務室に移設することとなる。PASJに特集号が多いため一般投稿論文の出版が遅れ気味となることについて谷口評議員より質問があり，理事会で予算措置をとったので出版が遅くならないようにできると有本理事が回答した。また，電子出版について多くの質疑がなされた。
8. その他
  - (1) 日本学術会議第18期会員として天文学会推薦の池内了氏が承認されたことが大石庶務理事より報告があった。
  - (2) 山岡理事より，天体発見賞選考委員会で検討を進めている「天文功労賞(仮称)」についての説明があった。本賞は，観測量や発見数の多さにより天文学への寄与が顕著なものを対象と

社団法人 日本天文学会へ下記の寄付を頂きましたのでお礼を申し上げますと共にお知らせ致します。

●この度，日本天文学会研究奨励賞基金に多くの天文学会会員の方々から当基金にご寄付を頂きました。ここに深く御礼を申し上げます。

日本天文学会研究奨励賞は，会員の方々からのご寄付によって，優れた研究成果を挙げている若手天文学研究者に授与されています。

なお，基金は個人・団体を問わず一般より継続して募集していますのでよろしくお願い致します。

郵便振替 口座名：(社) 日本天文学会研究奨励賞  
口座番号：0015-4-395067

社団法人 日本天文学会理事長 尾崎洋二

することが説明された。評議員会としては賞の制定をすることを支持することを確認し、その後、賞の性格づけ・学会として責任を持って選考するための基準・内規案・賞の名称などに関して様々な意見が交換され、天体発見賞選考委員会ですらに検討することとなった。これに関連して天体発見賞の発見対象として、彗星、新星、超新星以外のもの（小惑星など）も含めることが山岡理事より表明された。

- (3) 上野評議員より、若手夏の学校でのポスターボードを学会から1枚2000円で借りていることに関して質問があったが、理事会と相談するべき事項であるということになった。
- (4) 学会事務室の国立天文台テープ保管庫への引越しを8月29日に行なうことが、大石庶務理事から報告された。
- (5) 五島プラネタリウムの閉館に伴い、秋季年会総会で学会より感謝状を贈呈することが大石庶務理事より報告され、了承された。

2000年8月22日

議長 奥田治之 印

署名人 佐藤修二 印

署名人 石黒正人 印

## 日本天文学会理事会 議事録

日時：2000年7月8日(土)

13時00分～16時30分

場所：国立天文台 会議室

出席者：尾崎、家、小山、柴田、大石、立松、紀伊、吉川、上野、沢、大谷、山岡、橋本（出席者13名）

欠席者：有本、牧島

他に、原事務長と東条次期事務長が参加した。

議事に先立ち、署名人を選出した

議長：尾崎洋二

署名人：柴田一成、大石雅寿

### 議事の経過及び結果

1. 前回（2000年4月5日）の理事会議事録が報告され、承認された。また、5月27日に実務理事会が開催されたことが報告された。実務理事会で議論された「別姓使用のお願い」については、42研究機関に送付され、9月号の天文月報に掲載される予定である。
2. 2001年度事業計画案が大石庶務理事より報告され、承認された。また、2001年度の収支予算案が立松会計理事より報告された。一般会計書が分かり

にくいことについて議論が集中し、特に、一般会計の「予備費」が見かけ上負になっていることに関し、多くの意見交換がなされた。評議員会へは原案を提出するが、会計理事に補足説明資料を作成して説明してもらうこととした。収支案に関連して、PASJへの一般投稿論文の出版が遅い原因が予算上の制約ではないかと大石庶務理事が質問したが、立松会計理事より、原因は編集作業に携わるマンパワー不足であるとの回答があった。また同理事より、予算上の制約で掲載時期が大幅遅れるのは学会の利益に反するので8月に開催予定の編集委員会において、ある程度のフレキシビリティをもってページ増に対応していただいかまわらないことを説明すること、2000年度に関しては刊行補助金が予算よりも多かったのである程度のページ増に対応できなくはないこと、号あたりの論文数に関しては編集部作業量も考慮しつつ判断する必要があること、が述べられた。8月のPASJ編集会議での議論を待って、理事会として予算面も含めてサポートできることがあればしていくことを確認した。また、本日時点で1/3の会員が会費未納であることを重視し、会計理事が中心となって対策を考えることを確認した。

3. 2001-2002年度の役員（理事・監事）、選挙管理委員、林忠四郎賞選考委員の各候補者が大石庶務理事より提示され、原案通り承認された。
4. 2001-2002年度の各委員会委員候補が大石庶務理事より提示され、意見交換の後原案通り承認された。
5. 新入正会員の名簿が大石庶務理事より示され、43名の入会が承認された。
6. PASJを出版・販売委託しているUAPとの契約を12月31日で終結させ、2001年度からは、出版はPLAIN、販売は丸善にお願いすることになった経緯が大石庶務理事から報告された。また、EPASJのサーバーは、理研から天文学会事務室内に移設し、編集委員会が維持管理をすることとなった。理事会としてこの方針を了承したが、PLAINへの移行手順と編集委員会の体制の整備について万全を期すようにとの要望があった。
7. 2000年度秋季年会（伊勢崎市）の準備状況について、橋本理事から報告があった。講演申し込み数は約430であり、年会は8セッションとなる。ポスター会場は伊勢崎東高校の体育館となる。懇親会には群馬県知事の挨拶が予定されている。公開講演会は、佐藤文隆氏と海部宣男氏にお願いすることになっている。
8. その他
  - (1) 山岡理事より、天体発見賞選考委員会で検討を重ねている「天文功労賞（仮称）」の草案について説明があった。アマチュア天文家による

継続的な観測・啓蒙活動を称賛し奨励することが目的である。意見交換の後、たたき台として評議員会に提出することとした。

- (2) 第18期宇宙空間研連委員候補3名および地球物理研連委員会惑星科学専門委員へのオブザーバー1名の推薦要請が来ているので、候補の選考は理事長・副理事長に一任することとした。関連して、第18期日本学術会議天文学国際共同観測専門委員会委員の選出法について家専門委員会委員長より報告説明があった。
- (3) 第18期日本学術会議への天文学会からの会員として池内了氏が正式決定されたとの報告が大石庶務理事からあった。
- (4) 倒産した広告代理店の廣和堂の清算処理が終了し、学会が持っていた債権(16万2000円)の約5%にあたる8133円が回収できることとなった。残額は債権放棄することになる。
- (5) 教材委員会からの報告書を大石庶務理事が紹介した。
- (6) JCB自動引き落とし用紙を会費未納者に送付したところ、78名が自動引き落としを利用することになった。
- (7) 五島プラネタリウムの閉館に際し、学会から感謝状を贈呈することが了承され、秋の総会で贈呈することとなった。
- (8) 7月20日から始まる国立天文台三鷹キャンパスの常時公開で設置される展示室で「すばる望遠鏡完成絵葉書」や「星座早見版」を、天文学振興財団に委託して販売することとなったことが大石庶務理事より報告された。当面の間、委託販売料は無料である。
- (9) 天文学会事務室のテープ保管庫への引越しは8月29日(火)と決まった。
- (10) 次回の理事会・評議員会の予定を以下のように決定した。

理事会 : 2000年10月7日(土)

評議員会 : 2000年10月6日(金)

2000年8月22日

議長 尾崎洋二 印

署名人 柴田一成 印

署名人 大石雅寿 印

## 第18期日本学術会議天文学研究連絡委員会 および天文学国際共同観測専門委員会・委員 候補者名簿

第17期天文研連委員長：池内 了

第18期天文研連委員候補者として、第17期研連での申し合わせに則り、日本天文学会選挙管理委員会による投票結果に基づき、以下の21名の方々を日本学術会議に推薦いたしましたので、お知らせします。

(天文研連委員候補者) 敬称略, アイウエオ順

家 正則, 池内 了, 磯部琇三, 井上 一, 井上 允, 岡村定矩, 奥村幸子, 海部宣男, 加藤万里子, 小杉健郎, 小山勝二, 佐藤修二, 柴田一成, 谷口義明, 野本憲一, 長谷川哲夫, 福井康雄, 福島登志夫, 牧島一夫, 松田卓也, 観山正見

上記委員の内、学術会議会員として池内 了, IAU 役員として副会長の海部宣男, 分科会委員長の磯部琇三, 岡村定矩, の4氏は選挙によらずに、自動的に委員となって頂く方々です。

また、天文学国際共同観測専門委員会は、第17期での専門委員会の申し合わせに則り、専門委員会からの推薦と天文研連との話し合いによって人選し、以下の16名の方々を日本学術会議に推薦いたしました。

(専門委員会委員候補者) 敬称略, アイウエオ順

家 正則, 一本 潔, 稲谷順司, 井上 一, 井上 允, 川邊良平, 北井礼三郎, 高橋典嗣, 高崎史彦, 田中培生, 手島政廣, 戸田 誠, 中川貴雄, 福井康雄, 森 秀雄, 湯元清文

編集委員 上野孝宗(編集長), 伊藤孝士, 大橋正健, 小野智子, 斎藤芳隆, 田村元秀, 土橋一仁, 内藤統也, 和田桂一  
平成12年10月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
印刷発行 印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷  
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
TEL: 0422-31-1359 (事務室) / 0422-31-5488 (月報・欧文編集) FAX: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595  
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [gjimu@asj.or.jp](mailto:gjimu@asj.or.jp)